

[前画面へ戻る](#)

④ 科目名	グローバル文化論
④ 科目名(英訳)	Glocal Cultural Studies
④ 科目ナンバー	HM135A01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	立石 祥子
④ 単位数	2
④ 開講学年	1年
④ 開講セメスター	春期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HM
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	【春学期】 立石 祥子:火1-2
④ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門教育科目の中のメディア情報社会基盤科目のうちの理論基礎科目として位置づけられる。理論基礎科目は、メディア情報社会に関する基礎的理論を修得するための科目群である。本講義は、自分の身の回りから「文化とは何か」を考え、「私」と異なる様々な文化を学ぶことにより、個々の文化のより広いコンテキストを理解するための科目である。  【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○ ④:○
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 自己理解力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 国際的な視野

④ 授業の主旨 (概要)	この講義では、メディアや都市をめぐる様々な文化的出来事をテーマに取り上げます。講義では、親しみやすい身の回りの題材からスタートして、地域、日本、国際的な文脈で出来事を読み解きます。具体的な事象を見ていくことで、それぞれの文化にまつわるテーマに関し、その背景にある歴史や思想、研究の状況について理解を深めます。	
④ 具体的 達成目標	地域、日本、国際的な文脈において、さまざまなメディアや都市をめぐる最近の動きを批判的に説明できる。得られた知見を用い、身の回りの出来事について、自ら問いを立てて説明できる。	
	1	【内容】 オリエンテーション  【授業外学習】 自分自身が、どんな文化圏にいると思いますか？その文化圏の特徴を考えてみましょう。
	2	【内容】 国家的イベント——オリンピックと祝賀資本主義  【授業外学習】 大規模に報道される巨大イベントについて考えてみましょう。
	3	【内容】 インターネット——常時接続の社会  【授業外学習】 好きなウェブサイトの魅力について考えてみましょう。
	4	【内容】 フェイクニュース——ネット時代のジャーナリズム  【授業外学習】 最近、気になるニュースについて、そのニュースをどこで見たのかを含め考えてみましょう。
	5	【内容】 アナログの手触り——趣味の社会学とDIY  【授業外学習】 手作りしているもの、手作りにしたいものについて考えてみましょう。
	6	【内容】 ゲーム——日常化するゲーム、ゲーム化する日常

# 58 グローカル文化論[旧比較文化論]

④ 授業計画	7	【授業外学習】	これまでのゲーム体験について考えてみましょう。			
		【内容】	音楽——J-POPとその時代			
	8	【授業外学習】	好きな音楽について考えてみましょう。			
		【内容】	装い——社会の中のファッション			
	9	【授業外学習】	自身のファッションの系統や、こだわりについて考えてみましょう。			
		【内容】	ショッピング——百貨店からショッピングモールへ			
	10	【授業外学習】	ふだん買い物にでかける時の体験について考えてみましょう。			
		【内容】	アート——美術館から地域芸術祭へ			
	11	【授業外学習】	ミュージアムの体験について考えてみましょう。			
		【内容】	オタク——越境するオタク文化			
	12	【授業外学習】	オタク文化について考えてみましょう。			
		【内容】	ヤンキー——地方にこもる若者たち			
	13	【授業外学習】	ヤンキー文化について考えてみましょう。			
		【内容】	郊外——郊外化とまちづくりの現在			
	14	【授業外学習】	郊外での暮らしについて考えてみましょう。			
	【内容】	都会——おひとりさまと都市の居場所				
15	【授業外学習】	街での「ひとり飯」について考えてみましょう。				
	【内容】	再開発——都市における差別と排除				
15	【授業外学習】	都市における「排除」と「安心・安全」の問題について考えてみましょう。				
④ 授業方法	講義形式で行う。毎回の小課題については授業内でフィードバックする。					
④ 成績の評価方法	毎回の小課題(45%)、期末課題(55%)					
④ 成績の評価基準	満点を100点とし、上記の60点以上を合格とする。なお、授業への出席が3分の2に満たない場合は欠格とする。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『文化の社会学』	佐藤健二、吉見俊哉	有斐閣	2,200円	9784641122420
	2.	『現代文化への社会学——90年代と「いま」を比較する』	高野光平、加島卓、飯田豊	北樹出版	2,200円	9784779305870
④ 備考	教科書は特に使用せず、毎回テーマに沿った参考図書を紹介する。					
④ 関連ホームページ						
④ メールアドレス	立石 祥子 sbg0125@fsc.chubu.ac.jp					
④ オフィスアワー						

[前画面へ戻る](#)